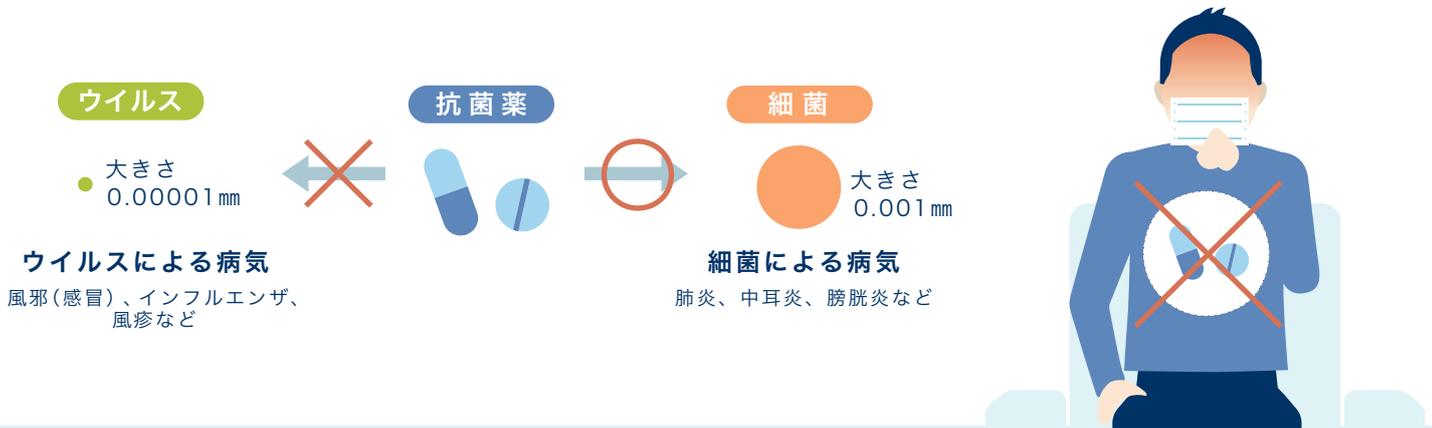


知ろう AMR、考えようあなたのクスリ 抗菌薬の正しい使い方

Antimicrobial Resistance: AMR

抗菌薬は「細菌」にしか効かない！

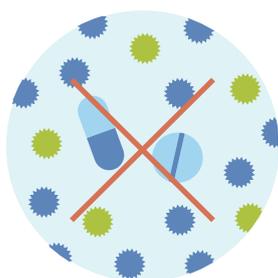


症状によって必要な対応は異なります。
診察を受けた医師の指示にしたがってください。



厚生労働省作成「抗微生物薬適正使用の手引き 第一版」による 対象：基礎疾患のない学童期以降の小児と成人

抗菌薬を正しく理解しましょう。



抗菌薬の効果
ウイルスが原因の病気には効きません。



副作用
下痢・嘔吐・発疹などの副作用をおこすこともあります。

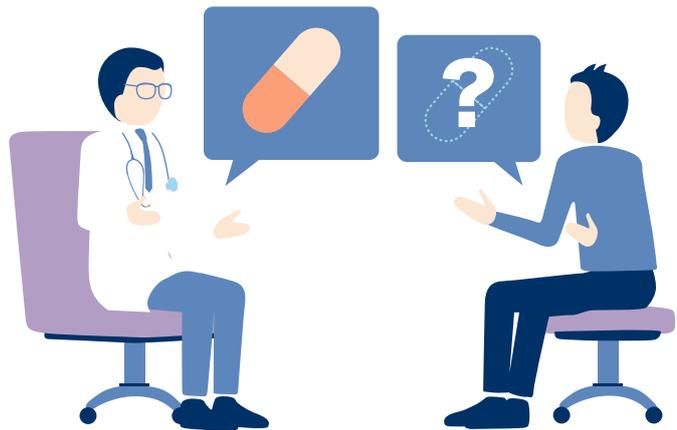


薬剤耐性へのリスク
必要のない抗菌薬の服用は薬剤耐性菌の増加につながります。

薬の正しい使い方

1. 医師・薬剤師の説明を良く聞きましょう

わからないことは質問しましょう。

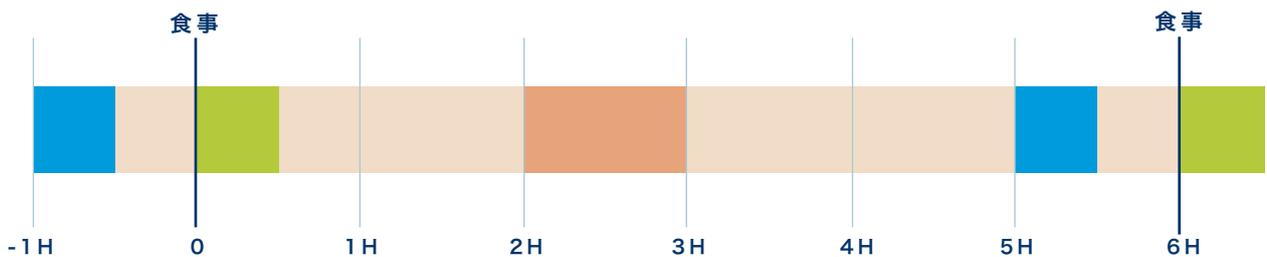


2. 飲むタイミングを守る

■ 「食前」 食事の1時間～30分前
(胃の中に食べ物が入っていないとき)

■ 「食後」 30分以内
(胃の中に食べ物が入っているとき)

■ 「食間」 食事の2時間後が目安
(食事と食事の間)
※ 食事中の服用ではない



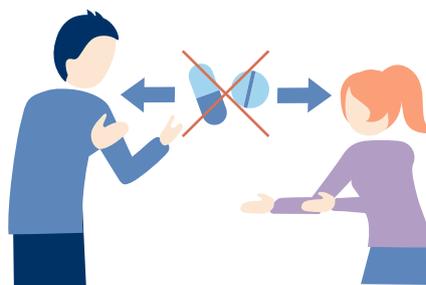
3. 薬を飲み忘れた時

気づいた時にすぐに飲みましょう。
ただし、次の服用時間が迫っている場合は1回分を抜いて、その次からいつものように飲みます。
詳しくは、医師や薬剤師に確認してください。



4. 処方された薬はあげない、もらわない

その人の症状や体質・年齢などを考慮して処方されているため、症状が似ていたとしても、他人が使ってははいけません。



5. 薬の飲み合わせに注意

薬やサプリメントの飲み合わせによっては十分な効果が得られなかったり、逆に効き過ぎて体に悪影響を及ぼしたりすることがあります。

